

「料飲店に寄り添う麒麟ビール」



鈴木凱仁店長

「写真」は明かず。「白山道」は大学が近い土地柄、学生はもちろん、家族連れや女性から年配者まで幅

「馬場老家」は、2014年1月に新宿区高田馬場一丁目創業した横浜家系の人気ラーメン店。高田馬場本店、荒川区西日暮里の「風の陣」、港区西麻布の「智の陣」、西

横浜家系「馬場老家・白山道」 ラーメン

まぶし、麺は太麺、ゆがいたホウレン草、海苔、チャーシューをトッピングとする伝統的な横浜家系ラーメンを提供。麺の硬さ、味の濃さ、脂の量が3段階で選べ、スープは定番の豚骨醤油の他に

「2027年までに世界のCSV先進企業になる」として、解決すべき社会課題を特定し、具体的なアクションプランを定め、グループ全体で取り組みを加速させている麒麟グループ。麒麟ビールでも「お客様のことを一番考える」を軸に、WINWINの課題解決型事業展開を強化、多くの成果を上げている。今回はコロナ禍で大きな痛手を被った料飲店に寄り添いながら、サービスの付加価値を高め、収益率を向上させる提案について3回連載で取り上げる。初回は「タッピー」を導入している人気ラーメン業態の「馬場老家」に焦点を当てる。(石母田健)

その①「タッピー」の提案



タッピー

記者の目に映った「馬場老家・白山道」は、明るくて清潔、テーブル席、カウンター席ともにゆつたりとし

にしる使いやすい。3リットルペットボトルの交換や洗浄も簡単でいつも新鮮な状態で提供できる。お客様からの味の評価も高い」と上々だ。同店では「麒麟一番搾り」と「麒麟陸ハイボール」を提供しているが、「夜はもちろ

に、380mlジョッキの提供価格は、「一番搾り」が390円、「陸ハイボール」は350円。鈴木店長は、「コロナ禍による様々な制約が解けたので、ビールやハイボールを飲むお客様は増えている。いつも新鮮な状態で提供できる「タッピー」への期待は大



明るい店内

「タッピー」の積極的な導入展開をしていく方針だ。

は、「場所をとらないし、な



店舗外観

ていて外から中が見えるので入りやすいという印象。鈴木店長も、「気軽に入れて、家族連れや女性にも人気。スタッフ全員、温かな接客にも心掛けていますので、ぜひお越しを」と笑顔で呼びかけていた。

※「TAPPY (タッピー)」は、20年11月の全国6県テスト販売を経て、今年4月20日に全国に拡大した。3リットルペットボトルで「麒麟一番搾り生ビール」「麒麟

らすべての人がハッピーになることを願ったものだ。麒麟ビールによると、従来の7リットル生樽は3日程度で消費するのが新鮮なビールを常に提供できる目安だが、これを3リットル/7日での消費を可能にしたのが「タッピー」。同社では、「本